

#オオイタレキシ旅

大分市内にあるとっておきの文化財の魅力をお届けします!

—第10弾—
帆足本家酒造蔵

第10弾 戸次の酒造蔵で 歴史的な町並みに思いをはせて

昔の商家街の面影を今に伝える戸次本町。この町の中心に位置するのが「帆足本家酒造蔵」です。

江戸末期から明治にかけて建てられた白壁の美しい建物で、昭和47年まで酒造りに使われていました。

現在は、保存修理工事が施され、井戸、窯場、仕込蔵、貯酒蔵など、ほぼ明治時代のころの姿に復元されています。日本の近代産業の一つである酒造業の工程がよくわかる建築群として、平成11年に「大分市指定有形文化財」に指定されました。9つの蔵がL字型に立ち並ぶそのたたずまいは、この地区固有の景観となっています。

内部は無料で公開されており、2階には実際に使用されていた道具や樽が展示されています。

Q 市報クイズ

○に入る言葉は何か?

アーティストバンク推進事業の取り組みとして開設された専用ウェブサイトは?

P○○○T

ヒントは、この市報の中にあります。

正解者の中から抽選で、ごぼうを使った加工品セットを3人にプレゼント!

※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

スマホ 右の二次元コードから応募してください。

はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、2月15日(木)(消印有効)までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



1月1日号「市報クイズ」の答え

消防職員・消防団員が一堂に集結し決起する消防の仕事始めを何というでしょう?
「消防(出)初(式)」



#酒樽の大きさにビックリ!



#お酒造りの道具たち



#市指定有形文化財帆足本家酒造蔵
#白壁、なまこ壁も鮮やかに!

Point

戸次本町には他にも歴史的建物があちこちに残っています。戸次の町並みを散策してみたいかたがでしょうか。

Access

所在地: 中戸次4381-1 休館日など、詳しくはこちら▶
公開時間: 午前9時~午後4時30分 見学は無料
駐車場: 酒造蔵隣接公衆トイレ横 3台
または、天満社公園駐車場をご利用ください
その他: 帆足本家酒造蔵管理事務室 ☎597-4649



☎ 文化財課 ☎578-7546

編集担当より

今号の表紙は「保育士」がテーマ。市内の保育所で、積み木で遊んでいる様子を撮影しました。

さまざまな形のブロックを積み上げていくと、大きな家が出来上がってきて驚きました。子どもたちの創造力は素晴らしいですね。
今年度もあともわずか。「一月往ぬる二月逃げる三月去る」という言葉がありますが、正月から三月までは行事が多く、あつという間に過ぎてしまうことを表した言葉です。今のうちにできることはやっておきたいですね

市公式SNSでは、旬な情報を発信中!



市公式SNSはこちら▶



市民図書館からのお知らせ

市民図書館で活動する ボランティア募集

内容: 書架の整理、資料の簡易修理、地域資料の保存作業、読み聞かせ(3年以上経験のある人)、図書館行事の協力

対象: 市内居住の16歳以上の人(18歳未満の人は保護者の承諾が必要)

◎ボランティア説明会

日時: 2月11日(日) 午前10時~15日(木) 午後2時~16日(金) 午前10時~(1時間程度)

場所: J:COM ホルトホール大分 2階 201・202会議室

その他: 3回とも同じ内容です。必ず1回参加してください。(事前申込不要)

市民図書館所蔵 おすすめの新刊

市民図書館 ホームページ▶



ことちゃんとかねこ ~リズムがたのしい5・7・5~



堀本 裕樹: さく 吉田 尚令: え ぼるぶ出版

こねこに引っかかれて泣きべそをかいていたことちゃんが、次第にこねこ心を通わせていく様子を俳句で表した絵本です。5・7・5のリズムがとても心地よく、かわいらしい絵がほのぼのとした気持ちにさせてくれます。読み聞かせにおすすめです。

#Z世代的価値観

竹田 ダニエル: 著 講談社

〇〇世代という言葉で若者を一括りにすることがありますが、Z世代に関しては年月で区切るのではなく、多様性と変化を受け入れる価値観のことだと作者は語っています。Z世代と言われる人たちを生んだ社会的背景を考え、理解するのに役立つ一冊です。



詳しくは、ホームページをご覧ください。市民図書館(☎576-8241)へ。

人権・同和教育シリーズ

542

人の生き方を考える



「わかる」と「かわる」

先日、娘と二人で買い物に出かけたときのこたけに貼られた「万引きは犯罪です」と書かれたポスターを見

つけ「その通りよね。万引きするなんて許せない」と言う娘に、わたしも共感したのでした。

買い物を終え、車を停めている立体駐車場のエレベーターに乗ると「痴漢に注意してください」と書かれたポスターを見ながら「気を付けなよ」と娘に伝えたところ、娘からは「それって違うと思う…」と不満げな言葉が返ってきたのでした。

心配して言ったのに、なぜ娘が不満に感じたのかを考えていると、娘は「これは、される側に注意を促しているのよね。気を付けることはもちろん大切だけど、痴漢をなくすためには、万引きのポスターみたいにされる側に訴えるべきよ」と語り、続けて「『気を付けなよ』とわたしに言ったお父さんはひよつとして、される側にも原因があると思っているんじゃない?」と言われハツとしたのでした。

帰りの車中でわたしは「さっきの話、言う通りだよな…」とつぶやくと、娘は「わたしの会社は人権研修に熱心に取り組んでいるの。研修ではいつも『差別はする側の問題です』と言われるけど、どこか疑問に感じていたのよね…。だってわたし、場合によってはされる側にも原因があると思っていたから。でも今日、やっぱりする側の問題なんだってことがはっきりと分かって、すっきりした」と話しました。

さらに娘から「いじめやハラスメントも、痴漢や万引きも、する人がしなくなれば、なくなるし、される側が『自分にも…』と考える必要もないよね。もしわたしが痴漢に遭ったら、お父さんだって『仕方がない』『あなたも悪い』とは言わないでしょ?」と言われ、「そんなひどいこと、絶対に言わないよ。俺も間違っていたな…」と返したのでした。

「差別はされる側にも原因がある」という差別を温存助長する考え方が、あなたの中にも潜んではいませんか? 部落差別をはじめあらゆる差別の解消においては、まずはわたしたち一人ひとりが「差別はする側の問題である」と認識することが必要です。